

令和3年度 1年学年育友会（オンラインで開催）

校長挨拶 鈴木彰

社会の流れとして、今後文理融合が求められていくが、現状での受験においては文理に分かれることは必要である。進路等の悩みがあれば担任などに相談してほしい。



保護者対象進路講演会 「希望進路実現のために ~保護者として知っておきたいこと~」

講師 株式会社ベネッセコーポレーション 西日本教育支援推進部 小見貴大様

- ・ **自分で調べて進路選択を** 進路選択は、知っている数少ない知識で場当たり的に決めるのではなく、社会の状況を見渡して納得度の高い選択をしてほしい。
- ・ **学習の仕方** 大学入試を本格的に考えて取り組み始めた時期が早いほど合格率が上がる。受験勉強は高3からは大間違い。早い時期から行動を始めることが重要である。また、勉強に取り組む始めてから成績が伸び始めるのに3か月から5か月はかかる。諦めたらそこで終わってしまう。
- ・ **生活リズム** 生活リズムが整っている子は成績が伸びる。特に金曜土曜に夜更かししている子は成績が伸びにくい。また隙間時間の活用が重要である。



コース選択説明 教務部長 内田康雄

文理選択は人生の大きな分岐点である。自分の強み、興味を伸ばしていける機会としてほしい。強い思いを持って進んだ卒業生はその後も社会で活躍している。文系・理系では特に地歴公民と理科で学習する時間に大きな違いがある。生徒向け学年集会、教育相談、保護者懇談を通して決定していくことになる。



進路について 進路支援部長 土肥義史

第一志望を貫き、最後まであきらめない生徒を育てたい。そのためにはまず1年次は、自己理解に努めて進路設計を構築することと、基礎学力を充実させるために学習習慣を確立できるように支援していきたい。



学年の状況 1年学年主任 田口貢大

オンライン学習支援は9割以上の生徒の参加が続いた。9/13~17の二者懇談では思ったより元気な者が多かったが、中にはやや生活リズムが乱れてしまった者もいた。9/27からの対面授業を楽しみにしている。

